

平成28年度農高・農大就農促進対策事業（農高就農促進対策助成）

事業主体名 伊佐農林高等学校

1 目的

農林業に関する興味・関心を持たせ、将来の農業担い手を発掘し、農林業関係従事者の育成に努める。そのため、農業関係機関または農業大学校等の視察、学校で企画する販売会などの体験学習、さらに外部団体などの協力で農林業に関する先端技術の学習を通して、農業関係機関への就業を促す。

2 実施状況

(1) 農林業後継者励ましの会の実施

毎年2月には、後継者育成推進協議会の会員を招き、農林業関係に就職する生徒また農業大学校に進学する生徒を激励する会を実施している。会のあと、ピザや企業と共同開発した新商品をふるまい、懇談会を行った。今年度は、農業大学校への進学が4人、農林業関係の就職3人、合計7人（全体の22%）がこの会に参加した。



(2) 先進地研修（1年、2年）の実施

農林技術科2年生を対象に県立農業大学校と鹿児島協同食品株式会社を訪問した。生徒の農林業に関する視野を広げ、専門教科に対する関心や意欲を高めるとともに、進路について考えることを目的としている。毎年、農業大学校への進学者もおり、学校の施設や寮などを見学し、進学また就農への意識付けになっている。



農林技術科1年生は、「農業と環境」の授業に関する再生可能エネルギーの学習内容を深めるため、木質バイオ発電の施設を見学した。森林及び地球環境について考えると同時に、今後の専門学習に対する関心や意欲を深める機会となった。



3 今後の課題、取組

農林技術科では、農業と林業に関する学習内容を取り入れ、2年生から大家畜・中小家畜・園芸・食品加工・林業の5つの専攻に分かれて学習を行っている。1年生では、共通の農業や林業の基礎的な学習を行い、2年からの専攻学習の選択を決めることになる。地域の農林業への関心を深め、実態を知ることから、課題を見だし、調査研究の専門を深めていく。就農をはじめ、農林業関連への進路に大いに役立てていきたい。